

21世紀の“とちぎ”づくりに関する提言の概要（要約）

提言者：県の審議会及び委員会等の委員
提言者数：80人
実施時期：平成17年3月

1 提言聴取の目的

新しい総合計画の策定に当たり、昨年度は、本県の将来像や今後の取組方向などの検討に資するため、県民意向調査や市町村長調査、若者（高校生）アンケートを実施し、県民が描く本県の姿や施策ごとの優先度、必要性等について把握してきた。

今後、第2次素案の作成に向けて、具体的な施策の展開方向を検討するに当たり、各分野あるいは施策の中で、「特に力を入れて取り組んでいかなければならないこと」、「新たな視点から取り組んでいかなければならないこと」などを把握するため、県行政に造詣が深く、各分野で高い見識を有する方々から、具体的な提言を求めたものである。

2 提言の内容

いただいた提言については、現在検討中の新しい政策体系に合わせて基本目標、施策毎に整理した。各基本目標毎の主な提言は以下のとおり。

(1) 基本目標1 「知恵にあふれ心豊かな人づくり〔教育・文化〕」

- 民間や教員OBなどを活用した少人数学級、習熟度別授業の実施
 - 教員のインターン制度の導入
 - 学外の専門家等（県民等の学外講師登録制度）による授業の実施
 - 幼小中高の一貫した心の教育ガイダンスの作成
 - 生活習慣病の改善予防のための学校における食生活指導と健康教育の実施
 - 就職の意思がない人や求職活動をしない人に対する教育と支援の実施
 - 非行の低年齢化、凶悪化や不登校等に対応できる専門教育者の育成、配置
 - 生涯学習に参加した人の社会貢献活動への参加促進
 - 県内の伝統芸能や祭りなどの発掘及びPR（国内外への発信）
 - 発育・発達段階に応じた一貫した指導法と組織体制の確立
- 等

(2) 基本目標2 「いのちをやさしく見守る社会づくり〔人権・保健・医療・福祉〕」

- 栃木県独自の視点による少子化対策の推進
 - 高齢者中心から子育てへシフトした福祉行政の推進
 - 高齢者の就業機会の確保や社会貢献活動参加による自立・生きがいづくり促進
 - 高齢者の経験・技能を伝承していく仕組みづくり
 - 高齢者による防犯パトロールなど、高齢者の活躍の機会の創出
 - 民生委員の権限拡大
 - 生活習慣病の予防・改善を図るための食育の推進
 - メンタルヘルス対策の強化
 - 高度医療に関する地域間格差の是正
- 等

(3) 基本目標 3 「確かな技術と創造性に富む産業づくり〔農林・商工サービス・労働〕」

- 地産地消の推進
- 食料の安定供給や自給率の向上
- 建設業等からの業種転換による農業従事者の確保
- 環境税や下流県に対する協力費負担の創設などにより、適正な森林整備が継続して実施できる制度の構築
- 民間企業の持つ多彩な知恵と経験を用いて、魅力的な特産品を中長期的に企画開発する施策展開
- 中小企業に対する知的財産の有用性を認識するための研修
- コミュニティビジネスの起業促進と中心市街地の活性化促進
- 海外企業を誘致するためのインセンティブや支援の仕組みの構築
- 小学生からの就業意識の高揚など、フリーターやニート対策
- 時短やワークシェアリングなど、発想の転換による新たな就労モデルの構築 等

(4) 基本目標 4 「快適でにぎわいのある交流地域づくり〔社会基盤・観光・国際化〕」

- 「良質な水」の確保のための森林の保全
- 高齢者、障害者が利用しやすい公共交通ネットワークの充実
- 地域社会や経済の活性化など、市町村の意向を適切に反映した道路整備
- 地元が主体となった商店街の活性化への援助
- 森林整備の実施と担い手の定着化による山村地域の活性化
- 自然そのものを生かした住環境の整備
- 自然環境、歴史的資産を活かした観光づくりの推進
- 国際交流やイベント開催による地域情報の全国や世界への発信
- 社会貢献活動をしたい人が行動するためのボランティア情報の提供
- ホームページやテレビを活用した特産品や観光地等の積極的なPR 等

(5) 基本目標 5 「安心の暮らしを支える環境づくり〔環境保全・防犯・防災〕」

- 地球温暖化対策に向けた、新エネルギーの積極的な活用
- 平地林の保全
- 各家庭から工場、地域社会まで一貫した環境汚染防止対策の実施
- リサイクル品の購買意欲を高めるPR活動の推進
- 高額な廃棄物処理機器購入に対する一部支援
- 環境保全等に関する県民の行動目標の設定や具体的実施方策の明記
- 警察官OBの配置などにより、常時相談できる交番体制の充実
- 様々な分野の消費相談に対応出来る消費者生活センターの充実
- 防災拠点や災害救急医療拠点の整備 等